

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

●全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	漢字を書く(おし量って)	37.8	正答率が70%に満たないものとして書くことに関する問題が多く見られた。文脈に即して漢字を書いたり、意見と根拠などを書き分けたりすることの学習が不足している。	漢字の書き取り練習は毎時間実施しているが、できた、できないで終わらせるのではなく習得できるまで丹念に取り組むことの指導。自分の考えを書くときに根拠を明確にして書き分けることの練習。
	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択す	66.9		
	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。	68.5		
数学	累積度数を求める	50.4	A数と式、B図形、C関数、Dデータの活用の全ての領域において、東京都の平均を6%から11パーセント上回った。知識・技能については7%、思考・判断・表現については9%、東京都の平均を上回り、考えを表現する力が身に付いてきている。	Dデータの活用については年間指導計画の中でもあまり時間をかけない領域であるため、知識・技能を身に付けるだけにとどまってしまい、内容から傾向を考察するなど、活用をする力を身に付けるにいたっていない。学んだことをどのような場面で活用できるのかを考えさせる指導に力を入れていく。
	箱ひげ図から黄葉日の傾向を説明する	40.9		
	平行線がかけない理由を説明する	44.9		
	具体的な事象を1次関数としてとらえて問題解決する	51.2		
英語	学校生活について1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く問題	14.3%	課題として挙げた問題以外は正答率が50%を超えており、17問中7問が70%を超えていた。選択問題の正答率が高く、日頃のテストの出題形式で慣れた分成果として現れたといえる。	全ての問題において全国平均正答率を上回っていたとはいえ、英文を書く問題の正答率は決して高いとは言えない。授業では英文を書かせる機会を増やし、添削を丁寧に行うことで生徒の自信をつけていく必要がある。
	英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く問題	36.5%		
	不足している語を補うなど、会話が成り立つように英文を完成させる問題	42.1%		
	英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	46.0%		